



長崎純心大学 学生相談室だより

第47号
2024. 4. 17発行

学生相談室のご案内
【開室時間】 月曜日～金曜日
12:00～16:00
【場 所】 保健センター内

色とりどりの花々が咲き始め、新緑が美しい、さわやかな季節となりました。新しい学年を迎え、気持ちを新たにしていることでしょうか。学生生活の中で、戸惑いを感じることもありますが、焦らずゆっくりと慣れていってください。悩みを誰かに聞いて欲しいとき、相談をしたいときなど、学生相談室を気軽にご利用ください。カウンセラーからのメッセージで新しい何かを感じることができるといいですね。

カウンセラーからひとこと

🍷『学生相談室へどうぞ』🍷

深井 薫（月曜日担当）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャンパスの木々も新緑の季節を迎えました。日々、むくむくもりもりと沢山の葉を茂らせていく姿を目にし、自然や生きものの力強いエネルギーや生きる力を感じています。新年度を迎え、こころ新たに自分らしく健康に過ごせる一年にしたいものです。

さて、前期の講義が始まりました。皆さんのこころと身体の調子はいかがですか？ちゃんと眠れていますか？新学期は、これまでとは違う新たな環境や勉強、人間関係などにストレスを感じたり疲れやすくなるようです。もし、睡眠や心身の不調が続き、学業や日常生活に支障が生じるようでしたら、我慢や無理をしないで、早めに家族や周りの人に相談して下さいね。学生相談室でも、あなたのこころと身体の健康を守り、自分らしさを大切にしていけるようお手伝いをしていきたいと思っています。

🍷「ヤクーバとライオン」🍷

川浪 由喜子（火・水・金曜日担当）

「ヤクーバとライオン」という絵本を知っていますか？

舞台は、アフリカの奥地の村。少年がある年齢になると、一人でライオンを見つけて槍で立ち向かい、ライオンを殺せば一人前の若者として認められ、荣誉ある兵士になることができる。

その年齢になった主人公の少年ヤクーバはライオンを求めて、照りつける太陽の下、荒野や山麓を歩き、川を渡る。そしてついにライオンと出会うが、そのライオンは傷を負い、立つこともできないほど弱っていた。ヤクーバにとって、そのライオンに槍で止めの一撃を加えることは容易だった。だが、ライオンの目は次のように語りかけてくる。「お前には二つの道がある。わしを殺せば、立派な男になったと言われるだろう。それは、本当の名誉なのか？もう一つの道は殺さないことだ。そうすれば、お前は本当に気高い心をもった人間になれる。だが、その時は仲間外れにされるだろう。どちらの道を選ぶか、それはお前が考えることだ」…結局、ヤクーバは力の尽き果てたライオンとは戦わない道を選び、その彼に与えられた仕事は、村のはずれで牛たちの世話をすることだった。

皆さんはこの物語をどう思いますか？ガザやウクライナだけでなく、世界のあちこちで戦争は続いているし、日本も決してそれを対岸の火事としてみていることはできなくなっていると思います。また、いじめや様々な事件の背景を見ると、このライオンの問いかけは胸に刺さります。真の勇気とは何なのか？皆さんも自分なりの答えを出していただくと幸いです。

🍷そうだんセンター🍷

浅香 佐輝子（木曜日担当）

新年度が始まりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今年2月、絵本作家ヨシタケシンスケさんの最新作『おしごとそうだんセンター』が出版されました。とある事情で地球にたどり着いた宇宙人が、地球で生活していくために、職探しをするというお話なのですが、宇宙人は、地球の色々な仕事を知っていく中で、働くことと人生とは？…を考えていきます。

皆さんも在学中、就きたい職業や、取りたい資格を探したり、叶うように励まれる方も多いと思いますが、時には上手くいかなかったり、思っていたのとは違うかも…と迷われることもあるかもしれません。今は、資格も職業も多種多様ですが、仕事とは？そもそも仕事を選ぶ自分とは？と思った方は、この絵本を読んでみてもいいかもしれません。

また社会人になる前に、進路だけでなく、自分自身について考えてみたい、振り返って整理したい、悩んでいることがある…と思われた方は、学生相談室にも足を運んでみてください。